

2018年6月 キューバ医療事情

下記情報は当地報道を抄訳したものです。詳しくは原文をご参照下さい。

【キューバ医療事情】

6月4日【CIBERCUBA】

“洪水被害の地域は衛生措置を最大限に”

熱帯低気圧アルベルトによる大雨の後、伝染病を防ぐために最大限の措置をしなければならぬ。被災地の多くがまだ問題が残っており、サンクティ・エスピリトゥ県のカバイグアン市やトリニダー市、サンクティ・エスピリトゥ市で給水問題が残っている。住民は信頼できる給水源からの塩素水を供給されている状態。

6月7日【CUBADEBATE】

“キューバ史上、乳児死亡率が最も低下”

2018年1月～5月の間、キューバは出生1000人当たり3.9人という史上最も低い乳児死亡率を達成した。この新記録は、母子保健プログラムや妊婦の家、NICUの効果が合わさった結果である。

6月12日【14 y medio.com】

“キューバはサハラ砂漠からの有害な塵埃に対して警戒”

キューバは夏の6月と7月、サハラ砂漠から鉄やシリカ、その他の鉱物を含む有害な塵埃が最大となる。その時期に一致して、気管支喘息の発症が最大となることが判明。

6月26日【Granma】

“キューバ最長老が117歳で死亡”

キューバ最長老で、世界でも最も長生きであると考えられている María Emilia Quesada Blanco氏が117歳でこの月曜日にシエンフエゴスで亡くなった。1901年1月5日生まれの老婦人は、ユーモアに富み、厳格な食習慣を守っていた。

6月30日【Marti】

“マタンサスの交通事故で1人死亡、6人負傷”

金曜日の午後、キューバ西部のマタンサス県でハバナとマタンサスを結ぶ幹線道路の急カーブで交通事故が発生。5トントラックが車線をはみ出し、2台の車と正面衝突した。6人はマタンサスの病院で治療されており、そのうち1人は重

体、2人は重症。キューバの第1四半期では多くの交通事故が発生し、今週も5件の重大な交通事故が報告されている。2018年に入り、400人以上が交通事故で負傷。